

外国語に自信がないのですが…

語学に100%の自信のある人の方が稀でしょう。語学力を向上させたいから留学したいという方も多いでしょう。まずは、今の自分の力を客観的に知り、留学のチャンスをつかめるだけの語学力を磨きましょう。

海外大学へ留学するためには大学での成績は関係ありますか。

海外の大学はGPA (Grade Point Average、1年次からの成績評価の平均値) を重視します。学生が、日常的に、学問領域において、努力できるかを見る指標となるからです。現地の学生と並んで学ぶ1学期以上の留学や、短期でも専門性が高いプログラムへの参加、奨学金の獲得を希望する場合、GPAは参考されます。留学前からの計画的な履修・学習をお勧めします。成績が思うように取れなかった場合も、参加できるプログラムの検討や、成績の上昇を目指しましょう。

取得してきた単位は卒業単位として認められますか?また、一年遅れずに、進級することはできますか?

出発前に国外留学申請を行い、留学先の大学で相応の授業を履修すれば、取得してきた単位は卒業単位として認められることがあります。概ね次のような手続きが必要ですが、詳細については学生課学事担当や学習指導副主任に相談してみましょう。

●留学前に、留学先の大学のホームページで開講科目を確認し、履修計画を立てましょう。履修予定の科目をもし取得した場合に、理工学部設置科目のどの科目として認定されるかを、学習指導副主任とよく確認しましょう。

●学部3年生で、帰国後遡及進級を希望している場合は、理工学部必修科目に相当する科目があるか、取得科目が認定されたら進級条件を満たすか、確認しましょう。単位の認定は、帰国後、学習指導会議で審議の上決定されます。なお、学部4年生は遡及卒業できません。

●大学院修士課程において留学する場合は、時期や期間により標準年限2年で修了することもできます。

留学すると就職活動に影響はありますか?

世界のグローバル化は不可避です。マーケットや工場が海外にあるのは当たり前のこと、社内公用語が英語でなかったとしても、英語ができることで得られる機会や情報が増えるでしょう。自分が留学経験で培った異なるものを受け容する力、やり抜く力、幅広い人的ネットワークについて就職活動の際に自信をもってアピールする事ができれば、有利になる可能性があります。

留学前に情報収集し、インターンに参加したり、留学中、留学先の学業に支障がない範囲で海外開催のキャリアフォーラムに参加したり、現地で活躍する日本人に話を伺ったりなど、工夫次第で就職活動は可能でしょう。希望する職種によっては特別の就職活動が必要な場合がありますので、ご自身で確認し、留学前に学生課キャリア支援担当に相談する様にしてください。

留学経験者の多くが自分自身が体験して得た経験や知識は、その後の人生をより豊かにしてくれる、就職活動が周りの人とは違うスケジュールとなっても、留学はチャレンジする価値があると語っています。

学生課国際担当ウェブサイトでは、その他質問にも回答しています。

Q. 学部3年生で留学した場合、卒業研究の研究室配属はどのようにになりますか?

Q. 派遣交換留学へ行きたいのですが、留学先大学はどう調べますか?

Q. 海外の大学院に進学をしたいのですが、どのように大学を探せばよいかわかりません…

Q. 留学をするのは経済的負担が大きいのですが…

国際人材育成資金・基金

理工学部・理工学研究科では、海外留学を経験し世界に通じる人材となる在学生を育てるために「国際人材育成基金」が設立されました。協定校等への留学プログラムに参加される学部生・大学院生が対象で、帰国後に申請となります。募集は春と秋にそれぞれ一回ずつ行われます。

その他の奨学金



理工学部学生課 国際担当
留学のための奨学金



理工学部学生課 学生生活奨学金担当
奨学金案内

理工学部生こそ

留学の ススメ



慶應義塾大学理工学部・理工学研究科



世界への扉を開けよう！

慶應義塾の理念に示されているように、理工学部においても創立者 福澤諭吉の「実学」の精神に基づき学際的・国際的な教育・研究を実施しつつ、学問によって新しい価値を創造し、変化の時代に対応しうる人材を育成することで、よりよい未来社会に向かって広く社会に貢献することを目指しています。この理念の下、国際的な感覚と視野を広げることのできる海外留学プログラムは大変重要な位置付けにあると考えています。留学プログラムでの体験を通じて滞在国独自の文化や考え方を学び取ることができることはもちろん、こうした学びにおいては、国際的な視野を広げると同時に、物事に対する多様な見方が修得できると考えています。

2023年以降、感染症対策による各種制限が緩和され、社会の活性化に向けた動きが定まりつつある今日この頃ですが、世界情勢の全てが必ずしも安定的な発展に向かっていないことは確かな状況と思います。しかしながら、こうした困難な状況においてこそ、ライフスタイルが大きく変わるパラダイムシフトが必要と考え、世界各国でも様々な対応が行われており、学びの「場」として、モビリティでしか得られない海外留学における重要性は揺るぎないものであると考えています。

理工学部では留学の醍醐味を実感するためのプログラムをいろいろと用意しています。例えば日本その他大学に先駆けて、慶應と海外の二つの大学の学位が同時に取得できるダブルディグリープログラムを設置しました。その他の協定校への交換留学も、計画次第では留学期間を含めた4年間で（すなわち留年することなく）慶應義塾大学を卒業することが可能になっています。留学先や制度に関する相談は、いつでも矢上キャンパス学生課国際担当(ic-yagami@adst.keio.ac.jp)で受け付けています。

世界への扉は大きく開いています。後は君たちがチャレンジするのみ！

日本の世間の狭さから脱却して、"It's a small world" と日々実感できる人間に成長できることを期待しています。

理工学部長 村上 俊之
(2025年4月)



\Go! GLOBAL /

理工学部生の留学プログラム

各プログラム詳細案内はこちら



短期

様々なテーマに沿って設計されたプログラムに参加することができます。

夏休みや春休み期間中の数週間、まずは海外へ第一歩を踏み出したい方へお勧め。

アーヘン工科大学サマースクール/スプリングスクール

ECNフランス語フランス文化研修プログラム

協定校・外部団体主催プログラムなど



2~12ヶ月の期間、

海外大学にて現地の学生に交じり、専門科目の授業履修や研究を行います。

自分の関心に照らし

オリジナルの留学をプランします。

期間・時期により慶應での在籍についても検討します。



ダブルディグリープログラムは慶應義塾と海外協定校の必要カリキュラムを修了すると、両校から同時に学位を取得できる制度です。留学期間はプログラムにより1学年間~2年間です。海外大学の学位を取得し、国際的エンジニアとして活躍することを目指す人にお勧めです。また、慶應義塾を卒業後、海外大学へ進学する人もいます。

ダブルディグリープログラム



学位取得

自分に合った留学を考えよう!

留学の目的・プラン作成の3つのポイント

1

2

3

なぜ留学したい?

語学力向上／異文化経験／視野を広げる
海外大学の学位取得
先端的な研究機関で学ぶ

何を学びたい?

専門知識の習得
コミュニケーション力
多様な価値観や思考

将来にどう生かしたい?

世界を舞台に活躍したい
世界的に通用する研究者に
起業したい

自分なりの答えを思い浮かべつつ、大学生活全体を見通したスケジュールを計画し、最適なプログラムを見つけましょう。

留学までの流れ

大学生活の計画

情報収集

語学、GPAの準備

プログラムへ応募

渡航準備

留学をいつどう大学生活に組み込むか、前後の履修計画を立てる

留学フェア、国際担当窓口、派遣生報告書などで、プログラムや奨学金などを探す

TOEFL、IELTS等、語学試験の受験を始める

申請期日や必要書類を確認
各種証明書類を取得

学内手続き、ビザ申請、住居・航空券手配、保険加入など



短 期
塾派遣交換
学位取得
木戸 祐輔さん
カリフォルニア大学 派遣交換留学生
ジェノヴァ大学 JEMAROプログラム派遣生

大学の制度を活用して是非海外へ!

僕は入学時、海外に一度も行った事のない純ジャバ人間でした。そんな僕が慶應義塾という恵まれた環境で米国とイタリアに計1年半留学させて頂きました。ここでは米国留学に行くまでの過程を英語とお金の観点でご紹介します。

学部1年の3月、必修英語でお世話になった小原京子先生に留学の相談をした所、心強い応援のお言葉を頂いたので、その年の秋募集の交換留学への応募を決意しました。もちろん英語が課題で7月に受けたTOEFLは62点でした(目標は80点でした)。流石に危機感を覚え、8月に3週間セブ島に私費留学しました。毎日10時間以上TOEFLの勉強をした結果、81点を取れました。ちなみに留学費用の約30万円(旅費・学費)のうち一部を慶應が「国際人材育成基金」から補助して下さりました。慶應は手厚いです。

10月に交換留学に出願して選考を通過しました。ここで問題になったのが留学費用で、僕の場合は寮代と生活費で月に20万円以上かかりました。なので奨学金を探し、僕は「TOMODACHI住友商事奨学金」から180万円を給付して頂きました。奨学金も沢山種類があり、相性があるので、諦めずに色々応募する事が大切です。

留学に行って心の底から良かったです。最初の3ヶ月は本当に英語に苦労しましたけどね(笑)。海外経験が少ない人ほど大学の制度を使うべきだと考えます。金銭的な補助に加え、制度・事務的なサポートが慶應は充実しています。また、社会人ではなく大学で留学する事の良い点は、①英語が下手でも許される、②ポジショントーク無しの友達が世界中に出来る事です。2回の留学を通して、僕を面白がってくれる最高の友達が沢山きました。また、英語力を身につけて世界中の研究者や学生と議論出来るのは最高に楽しいです。

これを読み留学に興味を持った方は周りに話してみて下さい。興味は共有される事で成就し、皆さん的人生を変えます。この文章が少しでも皆さんの行動のヒントになれば嬉しいです。



短 期

木村 彩花さん
IMT Atlantique語学研修
派遣生

留学は自分の世界を広げる最強の手段!

研修先のIMT Atlantiqueはエンジニア養成のための高等教育機関であり、さまざまな国や地域の留学生がこの研修に参加していました。平日は授業と放課後のイベント、休日は学生同士で小旅行という、3週間しか参加できなかったのが残念なくらい非常に楽しく充実した日々でした。

その中で感じた短期留学の魅力は、原体験ともいえるような新しい気づきが得られること、そして多様なバックグラウンドを持つ学生達との人間関係ができることです。例えば、フランスの授業は演習の時間が多くを占め、学生が積極的に発言することで授業が進んでいくスタイルのため、日本のものよりも対話を重視するように感じました。また、現地の市場でインタビューをしたり、理系の大学らしく簡単な物理法則を使った仕掛けをグループで作ったりと、かなり実践的なプログラムもありました。これらの経験から、語学は知識を蓄積するだけでなく、誰かに伝えるための生きた言語を学ぶものだという捉え方をするようになりました。

他国からの留学生達との交流も目の覚めるような経験の連続でした。寮生活だったこともあり、ほぼ毎日カラオケやダンスパーティー、スポーツなどの“soirée”と呼ばれる催しがあったので、その度に英語やフランス語でいろいろな学生と話していました。自分の知らない世界を生きてきた彼らの話はどれも新鮮でしたが、お互いの母語や文化・社会・価値観を伝え、知りたいという想いは共通であることを実感し、不思議なつながりを感じました。こうした体験から、今まで自分にとってあまり馴染みのなかったカザフスタンやレバノン、ラテンアメリカの国々といった彼らの出身地がぐっとリアルに感じられる様になりました。そして、自分が無知であり、もっと世界について学びたいという好奇心を持っていることに気づかされました。それは現在の言語学習や、世界情勢・人々との交流への興味に直結しています。

留学は自分の世界を広げる最強の手段です。1mmでも興味があれば、まずは機会に飛び込んでみてほしいと思います。



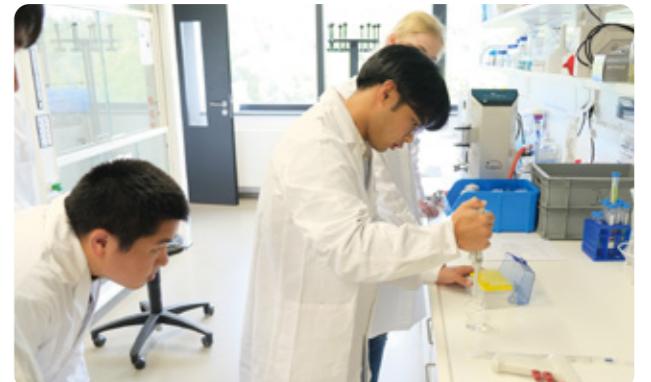
短 期
石川 慶多さん
アーヘン工科大学サマースクール
派遣生

理工学部生のみんな!実際に海外の理系大学も見てみよう!

プログラムは3週間に渡って行われ、午前中はドイツ語授業、午後は様々な分野、例えば物理や化学、サステナブルモビリティなどのテーマでアーヘン工科大学の教授による講義を受けました。その他、ベートーヴェンの生家があるBonnへの観光や、大学施設での細胞培養実験、巨大な水素燃料実験施設の見学等にも参加できる素晴らしい環境でした。僕は講演などで新しい先生が来るたびに1つは質問をしようと心がけているので、現地教授への質問がはっきりと浮かび思い通りに質問できた時は自信になり、一方で化学など自分が疎い分野ではうまく質問できず勉強不足を感じさせられました。

大学から近い寮での生活だったため、放課後や休日は旅行等自由に使うことができました。平日はメンターと一緒に夕食やバーに行ったり、寮の友達とスーパーに行き料理するなど、現地の生活を味わいました。メンターが企画してくれる遊びにも参加しました。アーヘンは大学中心の街の治安が良く、雰囲気も値段も高い飲食店が多いため、夜も安心して街に出ることができます。また友人とアムステルダムへのバス旅行や、ベルギーの知人宅を訪ねた週末には、パスポートを見せずに電車やバスで簡単に国境をまたぐというヨーロッパでしか味わえない経験をしました。

当時僕は研究室の選択で迷っている時期でしたが、プログラム参加を通してエネルギー分野にも新しい興味が生まれました。このプログラムの良さは、毎日24時間フル活用して現地で過ごせ、日本に興味のあるメンターやその友人など、多くの現地学生と交流できることです。海外を目指す・異文化を取り入れてみたいなど、様々なことを考えるきっかけにもなるはずです。ぜひ夏休みの3週間を使って、いつもの学部生活から一步踏み出してみて下さい。



\The Experience! /

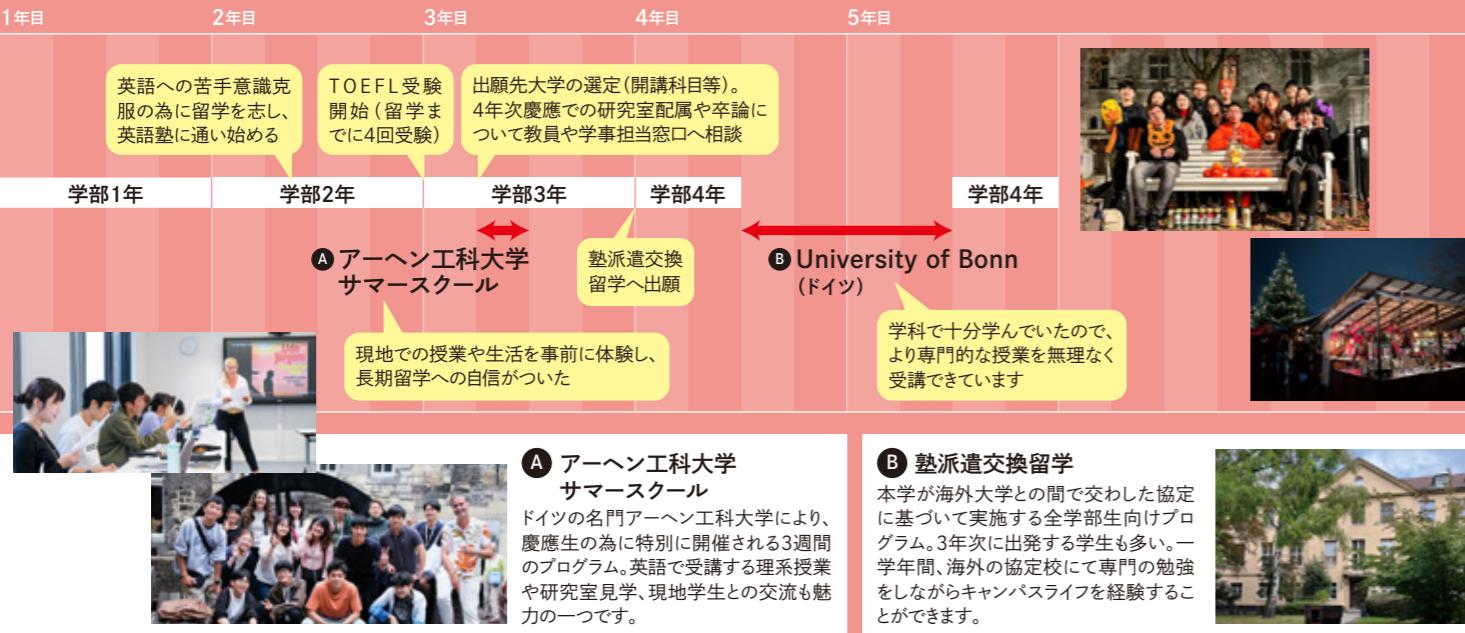
先輩たちの留学スタイル

Case 1 短期プログラム参加をきっかけに長期留学へチャレンジ!

短期 境外派遣交換

岡 明香里さん(物理学科)

留学に興味を持っても、海外での生活、語学力、学業や就活など、様々な不安があるかと思います。それでも、留学での経験は他では得られません。心配なことも不安なことも、一歩踏み出てしまえば案外何とかなります。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください!



Case 2 日本・フランスの学位を取得後研究活動を継続中

短期 学位取得

嶋田 竜己さん(機械工学科)

一年次にフランス留学の魅力を知り準備を開始。長期留学ならではの様々な挑戦を経て、海外で「外国人」として生活する貴重な経験ができます。踏み出せば、自信や行動は後からついていきます。なぜ留学したいのか、という気持ちを忘れないで。



留学スタイルは十人十色。

先輩達の道のりを参考に、自分だけの可能性を探していきましょう。

Case 3 派遣交換留学を経てダブルディグリープログラムに参加

短期 境外派遣交換

学位取得

守矢 直樹さん(機械工学科)

家族や先輩の経験談により海外への挑戦を考えるように。様々な準備を重ね、その時に挑戦できるプログラムにチャレンジし続けました。色々な不安があっても、自分が思う留学の「良い面」に目を向けて行動に移せばチャンスは回ってきます。



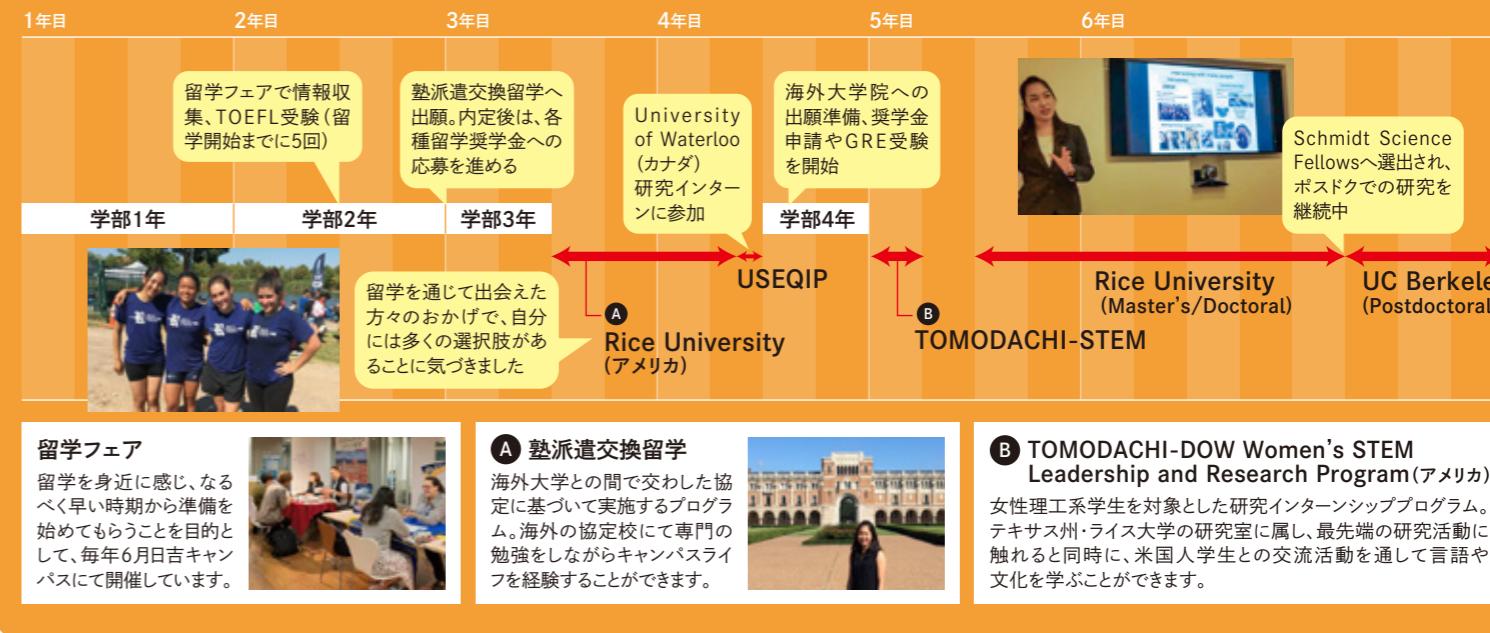
Case 4 派遣交換留学をステップとして海外大学院へ進学

短期 境外派遣交換

海外大学進学

小松 夏実さん(物理情報工学科)

実は理系こそ留学するべきだと思います! 研究者には英語力が必須ですし、企業においても英語ができるとアクセスできる情報量と機会が増えます。また、私は留学することで将来の選択肢や見える世界がぐっと広がり、人生がより楽しくなったと感じました。もし少しでも興味があれば、ぜひ一步踏み出してみてください!



留学プログラム

(2025年4月現在)

短期プログラム 夏季

アーヘン工科大学サマースクール

開催地	ドイツ	大学名	アーヘン工科大学 (RWTH Aachen)	実施予定期間	8月中旬～9月上旬(3週間)	
対象	学部	募集定員	約 20 名程度	単位付与	あり	参加費用目安 約 70 万円

理系の授業を英語で受講、現地学生との交流も魅力の一つ

国際センター主催 短期海外研修プログラム(夏)

開催地	イギリス・アメリカ他	大学名	ケンブリッジ大学、 ウェーリアムアンドメアリー大学など	実施予定期間	夏季休校中	
対象	学部・院(全学部)	募集定員	プログラムによる	単位付与	あり	参加費用目安 プログラムによる

他学部の塾生と留学

IMT アトランティック語学研修

開催地	フランス	大学名	IMT アトランティック	実施予定期間	7月下旬～8月中旬(約3週間)	
対象	学部・院	募集定員	10 名程度	単位付与	なし	参加費用目安 開催年度による

理工系大学でのフランス語研修、世界各国からの学生との交流ができる。DD志望者にもおすすめ

シカゴ大学 Computer Science Student Summer Research Fellowship Program

開催地	アメリカ	大学名	シカゴ大学	実施予定期間	7月上旬～8月下旬(約8週間)	
対象	3・4年生・院	募集定員	1 名程度	単位付与	なし	参加費用目安 約 30 万円

シカゴ大学で選抜されると Computer Science 分野の研究室の活動に参加できる

東義大学サマープログラム

開催地	韓国	大学名	東義大学	実施予定期間	8月上旬～下旬(約2週間)	
対象	学部・院(全学部)	募集定員	特になし	単位付与	なし	参加費用目安 開催年度による

釜山で韓国の言葉や文化に親しむ

SAF 海外大学サマーセッション短期留学

開催地	アメリカ	大学名	UCLA, UC バークレー	実施予定期間	6月～9月(6～12週間)	
対象	学部	募集定員	特になし	単位付与	可	参加費用目安 プログラムによる

カリフォルニア大学で授業履修。2nd クォーターを活用して 3 ヶ月の留学も可能

中谷財団 国際学生交流プログラム NAKATANI RIES (Research & International Experiences for Students)

開催地	アメリカ	大学名	夏季：ジョージア工科大学	実施予定期間	8月上旬～9月下旬(約7週間)	
対象	学部	募集定員	若干名	単位付与	なし	参加費用目安 選抜により奨学生として参加

将来、研究の道へ進みたい全国の意欲的な学生が応募

TOMODACHI-DOW Women's STEM Leadership and Research Program

開催地	アメリカ	大学名	ライス大学	実施予定期間	2月～3月(約1ヶ月)	
対象	理工系女子学生	募集定員	10 名程度	単位付与	なし	参加費用目安 選抜により奨学生として参加

理工系女子学生を対象とした研究インターンシッププログラム

短期プログラム 春季

ECN フランス語フランス文化研修プログラム

開催地	フランス	大学名	エコール・サンタル・ナント (ECN)	実施予定期間	2月中旬～3月下旬(6週間)	
対象	2年生以上・院(全学部)	募集定員	8 名	単位付与	あり	参加費用目安 約 20 万円

理工系大学でフランス語・文化研修。ホームステイも経験できる。DD志望者におすすめ

アーヘン工科大学スプリングスクール

開催地	ドイツ	大学名	アーヘン工科大学 (RWTH Aachen)	実施予定期間	2月中旬～3月中旬(3週間)	
対象	学部・院(全学部)	募集定員	15 名程度	単位付与	あり	参加費用目安 約 60 万円

ドイツ語の語学研修。大学を中心とした街や他国へのアクセスの良さ、現地学生との交流も魅力の一つ

国際センター主催 短期海外研修プログラム(春)

開催地	フランス他	大学名	パリ政治学院など	実施予定期間	春季休校中	
対象	学部・院(全学部)	募集定員	プログラムによる	単位付与	あり	参加費用目安 プログラムによる

他学部の塾生と留学

SMART LYON

開催地	フランス	大学名	国立応用科学院リヨン校 (INSA Lyon)	実施予定期間	3月初旬～中旬(約2週間)	
対象	学部・院	募集定員	10 名程度	単位付与	なし	参加費用目安 約 20 万円

理工系大学で Smart City/IoT やフランス語を学べる

セメスター留学(2~10か月程度)

慶應義塾大学派遣交換留学

開催地	各国	大学名	協定校	実施予定期間	1学年間(10ヶ月程度)	世界各国130校を超える全学の協定校への留学プログラム
対象	学部・院(全学部)	募集定員	派遣先による	単位付与	可	大学間協定により 学費相互免除

理工学部・理工学研究科 交換研修

開催地	各国	大学名	協定校	実施予定期間	1学期~通年	理工学部・理工学研究科の協定校の中から留学先を決める
対象	学部(一部派遣先)・院	募集定員	派遣先による	単位付与	可	大学間協定により 学費相互免除

SSAE: Spring Semester in Aerospace Engineering

開催地	フランス	大学名	国立航空宇宙工学高等学院 (ISAE-SUPAERO)	実施予定期間	1月下旬~5月下旬(約4ヶ月間)	航空宇宙分野では最も優れた学校の1つでの、航空宇宙工学に特化した英語によるプログラム
対象	3・4年生・院	募集定員	4名程度	単位付与	可	大学間協定により 学費相互免除

SAF 海外大学留学(私費留学)

開催地	各国	大学名	各国大学	実施予定期間	数週間~1年程度	米国等、留学先の選択肢も多数あり
対象	学部(全学部)	募集定員	派遣先による	単位付与	可	参加費用自安 プログラムによる

学位取得型(1~2年程度)

ダブルディグリープログラム(学部)

開催地	フランス	大学名	エコールサントラルグループ各校	実施予定期間	計4年間 (開催地:2年間/慶應:修士2年間)	エリート養成教育機関のグラントコールで、フランス語で学位取得に挑戦	
対象	応募時:学部2年生 留学開始時:学部3年生	募集定員	派遣先による	参加費用自安	大学間協定により 学費相互免除	主催	理工学部

ダブルディグリープログラム(大学院)

開催地	フランス・イタリア・ ドイツ・ベルギー・ スペイン・スウェーデン	大学名	T.I.M.E. Association メンバー校他	実施予定期間	計3年間 (開催地:1.5年間/慶應:修士1.5年間)	欧州屈指の理工系大学院で、マスタープログラムに入学。2つの学位取得に挑戦	
対象	応募時:学部4年生 留学開始時:修士1年生	募集定員	派遣先による	参加費用自安	大学間協定により 学費相互免除	主催	理工学部

JAPAN-EU 高度ロボティクスマスタープログラム (JEMARO)

開催地	フランス・イタリア ポーランド	大学名	エコール・サンタル・ナント、 ジェノヴァ大学、ワルシャワ工科大学	実施予定期間	計2年間 (開催地:1年間/慶應:1年間)	※2025年度派遣は行いません。 ロボティクスに特化した海外大学とのジョイントプログラム	
対象	応募時:学部4年生 留学開始時:修士1年生	募集定員	-	参加費用自安	-	主催	理工学部

国際インターンシップ

IAESTE 国際インターンシップ

開催地	各国	大学名	各国企業・研究機関	実施予定期間	2ヶ月~1年間(多くは2~3ヶ月)	理系分野のインターンシップを推進している国際非政府団体が運営するプログラム
対象	2年生以上・院	募集定員	特になし	単位付与	可	参加費用自安 開催地による

理工学部関連講義

グローバルリーダーシップセミナー

開催地	日吉	大学名	世界に通じる国際的な素養を体得することを目的とする。日本語・英語での討論あり	実施予定期間	春または秋学期	理工学部履修案内参照
対象	学部1,2年生	募集定員	30名程度	単位付与	あり	参加費用自安

グローバルリーダーシップセミナー実地研修

開催地	韓国・台湾・日本・米国	大学名	実施年度による	実施予定期間	夏季休暇または春期休暇	「グローバルリーダーシップセミナー」履修者優先
対象	学部1,2年生	募集定員	派遣先による	単位付与	あり	参加費用自安 参加費用補助あり

※ 詳細については、募集時に発表される要項の内容を必ず確認してください。

※ 協定校開催の短期研修は上記以外にも多数開催されています(フランス INSA Lyon の INNOV INSA や Supélec の Artificial Intelligence/Industry 4.0 他)。それらを含む外部団体開催のプログラムに参加する際は、内容確認、参加に伴う契約や支払い、その他一切についてはご自身の判断と責任で行ってください。



慶應義塾大学 理工学部 学生課国際担当

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉 3-14-1

電話:045-566-1468 E-MAIL:ic-yagami@adst.keio.ac.jp

